

## 教職員自己紹介

荻原 康幸 (おぎはら やすゆき)

実習助手

1977 年生まれ、福岡県福岡市出身です。2002 年に九州工業大学情報工学部生物化学システム工学科卒業。2004 年に九州工業大学大学院情報工学研究科情報創成工学専攻博士前期課程を修了。現在は同大学院博士後期課程に在籍しています。九州産業大学情報科学部の実習助手は 2004 年 10 月よりさせて頂いています。



現在の研究テーマはリアルエージェントを用いた遠

隔講義システムに関する研究です。具体的には既存の遠隔講義システムに遠隔地からの参加者の代替物としてリアルエージェント (コミュニケーションロボット) を利用し、遠隔地からの参加者の身体的表現を支援する遠隔講義システムの研究を行っています。そのためのロボットの動作開発を行っています。また、ロボットに関係することでは、2001 年より自律型ロボットを用いてサッカーを行うロボカップ 4 足ロボットリーグに参加しています。ロボカップ 4 足ロボットリーグは全チーム共通のプラットフォームである SONY 社のエンターテインメントロボット AIBO を用いて AIBO を制御するソフトウェアの開発を行い、サッカーの試合を通してソフトウェア開発の技術を競っています。

講義では情報リテラシー、同演習、解析学基礎演習、線形代数演習、およびプログラミング基礎、同演習の補佐を行います。

蔡 文杰 (さい ぶんけつ)

実習助手

出身は中国の天津市です。1990 年 7 月中国武漢大学電子情報学部電子工学専攻卒業して地元に戻り、天津市にある中国船舶工業総公司第 707 研究所に 3 年間勤めました。1993 年 9 月にまた武漢大学に戻り、1996 年 3 月に武漢大学電子情報学部画像処理と知能専攻修士課程を修了しました。その後、武漢大学電子情報科学研究所助手、そして講師を 4 年間勤めました。2000 年 10



月に来日して九州大学に研究生として入学しました。2001 年 4 月に九州大学システム情報学部知能システム専攻博士課程に入学しました。

修士課程では画像処理、病院情報システムについての研究を行っていました。博士課程に入学してからは、タブレット等介して計算機に手書き入力されたオンライン文字の認識に関して、漢字認識における筆順・画数の自由化、手書き変形に対する頑強性の向上などの検討を行っています。

今年 4 月から、九州産業大学情報科学部の実習助手として勤務しています。前期はデータ構造とアルゴリズム、同演習、情報科学基礎実験、後期は情報回路設計、情報回路実験の補佐を行います。

趣味はスポーツと切手収集です。スポーツなら何でも好きです。また、珍しい切手を手に入れるのを人生の一つの目標とします。